

年間授業計画

井草高等学校 令和5年度 教科地理歴史科 科目世界史B 年間授業計画

教科： 地理歴史 科目： 世界史B 単位数： 4単位

対象学年組： （第3学年必修選択）

教科担当者： （A群：堀）（B群：堀）

使用教科書：（『詳説世界史B』山川出版社）

使用教材：（『ニューステージ世界史詳覧』浜島書店）

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	アジア諸地域の繁栄	モンゴル帝国の衰退とその後のユーラシア世界各地における諸帝国の盛衰について、地球儀や世界地図を活用して理解する。	週1回の小テスト 定期考査	18

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	ヨーロッパ諸国の海外進出	近世のヨーロッパ及び、アメリカ、アフリカ、アジア世界の歴史的変容について理解する。	週1回の小テスト 定期考査	20
	17～18世紀ヨーロッパの文化と社会 中間考査	科学革命と近代的世界観、啓蒙思想と宮廷文化や市民文化、シノワズリやペルシア趣味を学び、世界に進出したヨーロッパと非ヨーロッパ世界の文化の交流、影響について理解する。		

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	近代ヨーロッパ・アメリカ世界	<p>アメリカ合衆国成立の経緯について理解する。</p> <p>フランス革命とナポレオン戦争の経緯、ウィーン体制について理解する。</p> <p>イギリスに始まる「工業化」と資本主義社会の成立についてその問題点も含めて理解する。</p>	週1回の小テスト 定期考査	20

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	期末考査 近代ヨーロッパ・アメリカ	19世紀以降、飛躍的に発達した交通や運輸と国際分業体制について理解する。	週1回の小テスト 定期考査	8

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の崩壊過程とラテンアメリカ諸国の独立について理解する。	週1回の小テスト 定期考査	18

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 0 月	欧米における近代国民国家の発展 欧米における近代国民国家の発展 中間考査	合衆国の発展と南北戦争の経緯、イギリスの自由主義改革や社会主義思想の発展について理解する。 フランス第二帝政、イタリアとドイツの統一、ロシアの改革について理解する。	週1回の小テスト 定期考査	20

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	<p>アジア諸地域の同様</p> <p>帝国主義とアジアの民族運動</p>	<p>アジア・アフリカ・アメリカの植民地化や従属化の経緯について理解する。</p> <p>帝国主義の進展と国際関係の緊張化について理解する。</p>	<p>週1回の小テスト 定期考査</p>	20

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	期末考査 19世紀のヨーロッパ文化	ロマン主義、写実主義、印象派の作品と作者について知り、オリエンタリズムやジャポニズムといった非ヨーロッパ地域文化の影響を理解する。	週1回の小テスト 定期考査	12

指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1月 総まとめ 入試問題演習 卒業考査	問題の構成や正解ばかりでなく誤答の分析も行い、入試問題に取り組む素地を形成する。	週1回の小テスト 定期考査	4